



今回はまずおわびを。

先月号の文章が尻切れトンボになっていたの、気がつかずに皆さんにお送りしてしまいました。申し訳ありません。

今後このようなことが無いよう、充分気を付けていきたいと思えます。

せっかくのゴールデンウィークも最後の二日は雨が降ってしまい、お出かけのご予定のあった方はがっかりなさったのではないのでしょうか。

この雨ですっかり散ってしまいましたが、我が家の隣のみかん畑では、白い可憐な花が、それはそれは甘い香りをあたり一面に漂わせてくれて、しばらくの間、天然のアロマセラピーを楽しむことができました。

みかんとは種類が異なりますが、アロマセラピーで使うオレンジの精油は、採取される部分で三種類のオイルに分けられます。

花の部分から採れるオイルは、“ネロリ”。

普通、オレンジの精油はスイート・オレンジを使いますが、このネロリの精油だけはビター・オレンジの花を使います。

大量のオレンジの花から、ほんの少しだけしか採取できないネロリは、とても高価で、香水の成分や化粧品の香りとして使われます。

果実の皮から採れるのが、いわゆる“オレンジ”。

これほど、老若男女に親しまれている香りは少ないでしょう。

オレンジの精油は、香水産業と食品産業で広く使われています。

葉と若い小枝から採れるオイルが、“プチグレン”。

プチグレンとは、“小さな粒”という意味。

もともとは、葉よりも未熟な粒のような果実から抽出されていた事に由来します。

この精油もやはり、香水業界や製薬業界などで使用されます。

同じオレンジの樹から採れるのに、この三種類の香りは、それぞれ微妙に異なる香りを持っています。

一番馴染みが深いのは、やはり果実の皮から採れるオレンジの香りでしょう。

プチグレンはちょっと癖のある香りで、人によって好みが分かれるかも。

機会があったら、アロマ・ショップで三種類の香りをテイastingしてみてください。

それぞれの微妙な違いがわかって、なかなか楽しいですよ。



5月お奨めのエッセンシャル・オイル・・・プチグレン

上記でも説明しましたが、オレンジとは微妙に異なる香りです。
オレンジ同様、落込んだ気分を明るくリフレッシュしてくれます。

5月のハーブ・ティー

オレンジづくしの5月です

オレンジブロッサム・リンデンフラワー・レモングラス

♥ トリートメント後のハーブ・ティーは、その日のお客様の体調に合わせたブレンドでお出しします

aromatherapy・salon

rose・drop

TEL 090-3578-4048

静岡市清水区中矢部町19-17

吉田 浩子